

～先生も体験学習～

7月27日(水) かずら編み体験

八頭郡内の小学校で1・2年生を担当する先生28人が、東宇塚の「森のめぐみ工房」でかずら編みを体験しました。この日の講師は、赤堀澄江さん(61歳・東宇塚)、目春二三子さん(68歳・西宇塚)、西澤太子さん(65歳・西宇塚)、小林美知恵さん(62歳・天木)、下山雄士さん(52歳・河二)の5人。赤堀さんが「最初は細めのツルを使って編み、徐々に太いツルを使って編み上げてください」と説明すると、先生たちは講師に手伝ってもらいながらかごを編み始めました。智頭小学校の賀川千里教諭は「私たちでもこんなに夢中になってしまうので、子どもたちにも体験させたい」と話していました。

～森林セラピーPR～

8月1日(月) 地元企業が応援

山陰合同銀行智頭支店(山根昌彦支店長)では、智頭町が取り組んでいる森林セラピーを盛り上げようと、山根支店長の呼びかけで行員全員がPRシャツを着用して業務を行いました。山根支店長は、「地元企業として町の行っている事を支援したい。1人でも多くの方が智頭町にやってくることで町が活性化すると智頭町活性化への思いを語られました。



～七夕列車出発～

7月1日(金) 智頭急行

諏訪保育園の年長児37人が智頭急行線の普通列車内で七夕の飾り付けを手伝い、七夕列車の出発を見送りました。この七夕列車は昨年からはまった企画で、7月1日(金)～8日(金)の1週間、智頭～大原間を1日14本運行しました。智頭急行線智頭駅には園児の願い事が書かれた短冊が飾られ、七夕飾りのまわりで「たなばたさま」を合唱しました。谷村みさきちゃん(6歳・三田)は「おおきくなったら、ケーキ屋さんになりたい」、西尾みくちゃん(5歳・上町)は「ピアノの先生になりたい」と、短冊に書いた願い事をうれしそうに教えてくれました。



～商店街にぎわう～

7月9日(土) おかげ地蔵市 河原町商店街

今回のおかげ地蔵市は七夕フェスタ、土曜夜市との共同開催で1000以上のお客さんが訪れました。地元以外にも津山、平福、佐用など近隣の市町村からも出店があり、新鮮野菜やB級グルメの屋台が建ち並びました。智頭地区公民館主催のクイズ大会・諏訪保育園の園児による「なるこおどり」や輪舞の「よさこい」が披露され、会場は大にぎわいでした。



～森で教育って?～

7月25日(月) 森のようちえん研修会

森林内での保育活動・運営に興味がある保育関係者50人が参加し、森のようちえん研修会が参加されました。現在、全国に150～200の森のようちえんが存在し、その第一人者であり全国ネットワーク委員長である内田幸一さん(57歳)が講演を行いました。「自然の中での活動を通じて子どもは劇的に成長する」と講演を始め、組織の種類、運営方法、活動支援について話しました。現地視察は新田のフィールドで行い、参加した琴浦町の保育士・盛山隆太さん(26歳)は「自分の町に船上山があるが、ほとんど活用しておらずもったいないと感じた。子どもたちが自発的に活動していた」と、森のようちえんの子どもたちの姿に驚いていました。



小学校統合シリーズ⑥

統合小学校 “大規模改築の現在の様子”

統合小学校の工事にあたり、智頭小学校の児童や先生、そして近隣の皆さまにご協力を頂き、ありがとうございます。



児童・職員玄関

工事が着実に進み、現在第2期工事の真っ只中です。校舎に向かって右側半分には新しい教室が造られ、残り半分は改築中です。玄関も写真のように新しくなりました。木材を多用し智頭らしさを出しています。また、特別教室の音楽室や図書室、家庭科室なども新しい内装となり、以前にも増して明るくなりました。2学期から使えるようにトイレの全面改修も行っています。

各校での閉校記念事業が進んでいますが、智頭小学校校舎でも統合への準備が進んでいます。



家庭科室



パソコン室



図書室



～癒やしの湯～

芦津集落に「ももんの湯」がオープン

芦津集落内にあるどんぐりの館隣に、「ももんの湯」がオープンしました。浴室は2つあり、1室は五右衛門風呂です。杉をふんだんに使用したこのお風呂、森林セラピーやトレッキングの後に利用してみたいかですか?

- 営業日 毎週土曜日(要予約)その他は6人以上の予約があれば随時開館します。
- 入浴時間 午後6時30分頃～9時頃
- 利用料金 大人(中学生以上) :500円  
子ども(小学生) :200円  
子ども(保育園児以下):無料

※タオルは持参してください。(ボディソープ、シャンプーはあります)

- 予約先 ①森林セラピーまたはシャワータイムとセットで利用する人  
役場山村再生課 ☎75-3117
- ②上記以外の人 小宮山 晃次 ☎090-7973-5174

